AX2200S
AX1250S
AX1240S

ALAXALA　AX2200S・AX1250S・AX1240S

ハードウェア取扱説明書訂正資料

2013 年 11 月発行（初版）

■はじめに

本資料は，AX2200S・AX1250S・AX1240S ハードウェア取扱説明書（Copyright (c) 2008, 2012, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.）の訂正内容について説明するものです。

本装置をご使用になる時は，この資料を必ずお読みください。

本資料の対象となるマニュアル一覧を以下に示します。

項番	マニュアル名称	マニュアル番号	発行
1	ALAXALA　AX2200S・AX1250S・AX1240S ハードウェア取扱説明書	AX1240S-H001-70	2012 年 7 月

■商標一覧

- Ethernet は，米国 Xerox Corp.の商品名称です。
- Microsoft は，米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- Windows は，米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- イーサネットは，富士ゼロックス（株）の商品名称です。
- そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ご注意

この資料は，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

2013 年 11（初版）

■著作権

Copyright (c) 2013, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

■変更履歴　（初版）

項番	章・節・項・タイトル	追加・変更内容
―	新規作成	• AX1240S-H001-70 に対する訂正内容を作成しました。

目　次

3 インタフェースケーブルおよび端末の準備 5

3.1 インタフェースケーブル，端末の接続 5

5 初期導入時に必要な操作.....6

5.2 初期導入時に必要な動作 6

5.2.2 初期導入時の操作概要 6

付録 7

付録B ネットワークインタフェースの物理仕様 7

付録B.4 イーサネット 1000BASE-Xインタフェース..... 7

3 インタフェースケーブルおよび端末の準備

3.1 インタフェースケーブル，端末の接続

SFP-LX の注記（*3）を下記のように訂正します。

【訂正前】

表 3-1 インタフェースケーブル，端末接続ケーブル

ポート/スロット	トランシーバ	インタフェース	ケーブル	コネクタ
（省略）	（省略）	（省略）	（省略）	（省略）
SFP スロット	（省略）	（省略）	（省略）	LC2 芯コネクタ
	SFP-LX	1000BASE-LX	マルチモード光ファイバケーブル *3（コア/クラッド径 =50/125μm）	
			マルチモード光ファイバケーブル *3（コア/クラッド径 =62.5/125μm）	
			シングルモード光ファイバケーブル（コア/クラッド径 =10/125μm）	
（省略）	（省略）	（省略）	（省略）	（省略）

*1 （省略）

*2 （省略）

*3 1000BASE-LX でマルチモード光ファイバを使用する場合，光ファイバによっては BER（ビット・エラー・レート）が上昇することがあります。このような場合には，モード・コンディショニング・パッチコードを使用することで，問題なく通信することができます。

【訂正後】

表 3-1 インタフェースケーブル，端末接続ケーブル

ポート/スロット	トランシーバ	インタフェース	ケーブル	コネクタ
（省略）	（省略）	（省略）	（省略）	（省略）
SFP スロット	（省略）	（省略）	（省略）	LC2 芯コネクタ
	SFP-LX	1000BASE-LX	マルチモード光ファイバケーブル *3（コア/クラッド径 =50/125μm）	
			マルチモード光ファイバケーブル *3（コア/クラッド径 =62.5/125μm）	
			シングルモード光ファイバケーブル（コア/クラッド径 =10/125μm）	
（省略）	（省略）	（省略）	（省略）	（省略）

*1 （省略）

*2 （省略）

*3 1000BASE-LX でマルチモード光ファイバを使用する場合，モード・コンディショニング・パッチコードが必要です。モード・コンディショニング・パッチコードの仕様は，62.5μm 光ファイバ用と 50μm 光ファイバ用で異なることに注意してください。

5 初期導入時に必要な操作

5.2 初期導入時に必要な動作

5.2.2 初期導入時の操作概要

(b) 装置管理者のパスワードの設定

NOTE の内容を下記のように訂正します。

【訂正前】

NOTE

パスワードの文字数は，6 文字以上 16 文字以下としてください。(17 文字以上入力した場合，16 文字までがパスワードとして登録されます。)
なお，英小文字のみのパスワードは使用できません。英大文字，数字または特殊文字を含ませてください。

【訂正後】

NOTE

パスワードの文字数は 6 文字以上を設定することをお勧めします。
6 文字未満の文字を入力した場合はエラーを表示しますが，再度入力すれば設定できます。また，パスワードの文字数は 16 文字以下を設定してください。17 文字以上入力した場合は，16 文字までをパスワードとして登録します。
なお，パスワードには英大文字，数字または記号を含むことをお勧めします。
すべて英小文字のパスワードを入力した場合はエラーを表示しますが，再度入力すれば設定できます。

(c) ログインユーザ ID の追加とログインパスワードの設定

NOTE の内容を下記のように訂正します。

【訂正前】

NOTE

ログインユーザ名は 1 文字以上 8 文字以下としてください。
パスワードの文字数は，6 文字以上 16 文字以下としてください。(17 文字以上入力した場合，16 文字までがパスワードとして登録されます。)
なお，英小文字のみのパスワードは使用できません。英大文字，数字または特殊文字を含ませてください。

【訂正後】

NOTE

ログインユーザ名は 1 文字以上 8 文字以下としてください。
パスワードの文字数は 6 文字以上を設定することをお勧めします。
6 文字未満の文字を入力した場合はエラーを表示しますが，再度入力すれば設定できます。また，パスワードの文字数は 17 文字以下を設定してください。17 文字以上入力した場合は，16 文字までをパスワードとして登録します。
なお，パスワードには英大文字，数字または記号を含むことをお勧めします。
すべて英小文字のパスワードを入力した場合はエラーを表示しますが，再度入力すれば設定できます。

付録

付録 B　ネットワークインタフェースの物理仕様

付録 B.4　イーサネット 1000BASE-X インタフェース

1000BASE-LX 物理仕様の注記（*1）を下記のように訂正します。

【訂正前】

表 B-7　1000BASE-LX 物理仕様

項目	物理仕様			
ケーブル種	マルチモード *1			シングルモード
コア/クラッド径	50 / 125μm		62.5 / 125μm	10 / 125μm
伝送帯域	400MHz・km	500MHz・km	500MHz・km	－
発光中心波長	1.270 ～ 1.355μm			
光送信電力（平均値）	-11.5 ～ -3.0dBm			-11.0 ～ -3.0dBm
光受信電力（平均値）	-19.0 ～ -3.0dBm			
光伝送損失（最大値）	7.5dB			8.0dB
伝送距離	2 ～ 550m			2m ～ 5km

*1　1000BASE-LX でマルチモード光ファイバを使用する場合，光ファイバによっては BER（ビット・エラー・レート）が上昇することがあります。このような場合には，モード・コンディショニング・パッチコードを使用することで，問題なく通信することができます。

【訂正後】

表 B-7　1000BASE-LX 物理仕様

項目	物理仕様			
ケーブル種	マルチモード *1			シングルモード
コア/クラッド径	50 / 125μm		62.5 / 125μm	10 / 125μm
伝送帯域	400MHz・km	500MHz・km	500MHz・km	－
発光中心波長	1.270 ～ 1.355μm			
光送信電力（平均値）	-11.5 ～ -3.0dBm			-11.0 ～ -3.0dBm
光受信電力（平均値）	-19.0 ～ -3.0dBm			
光伝送損失（最大値）	7.5dB			8.0dB
伝送距離	2 ～ 550m			2m ～ 5km

*1　1000BASE-LX でマルチモード光ファイバを使用する場合，モード・コンディショニング・パッチコードが必要です。モード・コンディショニング・パッチコードの仕様は，62.5μm 光ファイバ用と 50μm 光ファイバ用で異なることに注意してください。